

FL クラブにおける観戦回数別の観戦動機およびJリーグ観戦者調査との比較について

スポーツクラブマネジメントコース

5023A319-1 中西弘一

指導教員:間野 義之 教授

1. 背景

日本における各プロスポーツチームにおいて集客を課題としているチームは多数あると思われる。特に下位のカテゴリーでは常時スタジアムやアリーナが満員になるというようなチームは皆無である。サッカーのJFLではJ3への昇格するためには平均2,000人の観客動員を目指しているということが昇格の要件の1つである。Bリーグでも2026-27年シーズンより新しいライセンス基準へと移行することが決定しており、トップカテゴリー(B.LEAGUE PREMIER)に参入するためには2期連続4,000名以上、1つ下のカテゴリー(B.LEAGUE ONE)に参入するためには2,400名以上の入場者数が必要である。

そこで本研究では下位のカテゴリーのチームの観戦者はどういったことを求めてスタジアムへ足を運ぶのかということを検証していく。

2. 先行研究

これまでスポーツチームの観戦者に焦点を当てた研究は多数存在する。しかしながら、JFL加盟チームへの調査研究は皆無に近い。JFLは昇格要件に観客数が設定されており、集客の重要性はJリーグのクラブよりも重要である。そこで、JFLチームの観戦動機や集客について研究することは今後のJFLの発展に寄与すると考えられる。

また、先行研究の多くは上位のカテゴリ

ーを研究対象としている場合が多い。

3. 研究目的

JFLチームの観戦動機とJリーグチームの観戦動機との比較を行い、同様の傾向が見られるか否かを検討する。それにより、JFLチームの集客の方向性についての示唆を提示することが目的である。

4. 研究方法

JFLに所属し首都圏をホームタウンとするクラブを調査対象とし、ホームゲームにて観戦者にアンケートを実施する。そこで得たデータを基に男女間で観戦回数別に有意差があるのかを調べるために多重比較を実施した。さらに男女間でどういったことを求めてスタジアムへ足を運ぶのかを明らかにするために男女間でt検定を実施した。

5. 結果

調査対象チームの観戦者全体の平均年齢は45.3歳であり、Jリーグの観戦者の平均年齢が42.8歳であった。調査対象チームの観戦者の年齢層に関して、ボリュームゾーンが40代、50代、30代の順番になったことはJ1・J2と同じであった。性別については男性69.8%、女性30.2%であり、J1・J2平均が男性62.4%、女性37.6%であった。ホームタウン居住率に関しては観戦者の16.5%であり、これはJリーグに所属しているどのクラブより大幅に低い数値と

なっているが、ホームタウンを東京 23 区内と拡大すると観戦者の 75.4%であった。それでも J1・J2 の東京都内をホームタウンとする他の 3 クラブ(FC 東京・東京 V・町田)よりも低い割合となっている。

次に観戦回数ごとで分類し男女ごとで分散分析を行い、各項目と観戦回数の間に有意な差があるのか検証した。男性では 13 項目中 6 項目で有意差が確認され、女性では 13 項目中 2 項目で有意差が確認された。

首都圏にホームタウンを持つクラブを比較可能な J リーグ観戦者調査の項目と比較を実施したところ、観戦動機の部分で「地域のクラブだから」と「応援しているクラブが地域に貢献しているから」で多くのクラブが J リーグの平均以下という結果となった。

6. 考察

有意差のあった項目から推察すると、男性は元々サッカーが好きであった人々が、調査対象チーム地域に貢献していると観戦者に認知され、好きなクラブへとなくなっていくのではないかと推察される。さらに、スタジアムへ足を運んでいるうちに試合以外の面でも楽しいイベントであると認識されるようになったのではないかと推察される。

一方で女性は男性と異なり、元々サッカーが好きか否かに関わらず、調査対象チームが地域に貢献していると観戦者に認知され、好きなクラブへとなくなっていくのではないかと推察される。

また男女間において 2 項目で有意差が確

認できた。「好きな選手を応援したいから」で女性のほうが有意に高い値となった要因として考えられるのは、女性が 13 項目中最も高い値を出したために有意差があったものだと考えられる。また、「今日の対戦相手が魅力的だから」で有意差が出た要因として考えられるのは男性が 13 項目の中で最も低い値を出したために有意差があったものだと考える。

観戦者調査との比較で首都圏のクラブは地元意識が希薄なことがうかがえるのでこの部分を差別化できれば集客につながるのではないかと考えられる。

7. 結論

これまでの有意差のあった項目を基にすると、集客のターゲット層を定めるとき(ビギナー層をターゲットに集客するのか、コア層をターゲットに集客するのか)にどういった観戦回数の層がどういったことを求めているのかという示唆を与えることができた。さらに男女間でも有意差を検証した結果、有意差のある項目もあったので、そういった項目に関しては、男女で求めていることが違うということも確認できた。